

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)伊賀屋食品工業株式会社 新工場 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境				0.30			2.7
1 音環境			1.9	0.15		-	1.9
1.1 騒音			1.0	0.40		-	
1.2 遮音			3.4	0.40		-	
1 開口部遮音性能		遮音性能 28db	3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能			4.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-	
1.3 吸音			1.0	0.20		-	
2 温熱環境			2.3	0.35		-	2.3
2.1 室温制御			2.5	0.50		-	
1 室温		冬季、夏季共24度を確保可能	5.0	0.38		-	
2 外皮性能			1.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性			1.0	0.38		-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20		-	
2.3 空調方式			3.0	0.30		-	
3 光・視環境			2.5	0.25		-	2.6
3.1 昼光利用			1.8	0.30		-	
1 昼光率			1.0	0.60		-	
2 方位別開口				-		-	
3 昼光利用設備			3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策			2.0	0.30		-	
1 昼光制御		作業室:700lx 事務所:400lx	2.0	1.00		-	
3.3 照度			5.0	0.15		-	
3.4 照明制御			3.0	0.25		-	
4 空気質環境			3.8	0.25		-	3.8
4.1 発生源対策			5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を採用	5.0	1.00		-	
2 放射線				-		-	
4.2 換気			2.3	0.30		-	
1 換気量			3.0	0.33		-	
2 自然換気性能			3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33		-	
4.3 運用管理			3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		禁煙	1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御			5.0	0.50		-	
Q2 快適性				0.30			3.2
1 機能性			2.9	0.40		-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性			3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応			3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画			3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性			2.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		休憩室有り	1.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース			5.0	0.33		-	
3 内装計画			1.0	0.33		-	
1.3 維持管理			3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		パネル内装材、塗床、洗浄可能等	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-	
3 劣化対策				-		-	
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30		-	3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.50		-	
1 耐震性			3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		ステンレス材 ほぼロ材使用	3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			5.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20		-	

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備	インバータ制御、吊り配管	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		1.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.30			3.6
3.1 空間のゆとり			3.8	0.30			
1	階高のゆとり	5.5m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		6000N/m ²	5.0	0.30			
3.3 設備の更新性			2.6	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		1.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.40			2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 省エネルギー				0.40			3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				-			2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.70 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.63			4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		4.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)			-			
4 効率的運用			2.0	0.25			2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00			
4.1	モニタリング		-	-			
4.2	運用管理体制		2.0	1.00			
	集合住宅の評価			-			
4.1	モニタリング			-			
4.2	運用管理体制			-			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.1
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	節水コマ、自動水洗、節水型器具	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60			3.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	石こうボード、壁	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	主材が鉄骨、内装材がパネルで分別可能	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.9	0.20			2.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床、壁紙接着剤、塗床材	4.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			2.4
1 地球温暖化への配慮			3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮			1.8	0.33			1.8
2.1 大気汚染防止			1.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		1.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33			2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			1.6	0.40			
1	騒音		1.0	0.33			
2	振動		1.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40			
1	風害の抑制		1.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物照明を行っていない	4.0	0.70			
2	透光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	ガラス面にフィルム貼	4.0	0.30			